

にしのおいけ

社会福祉法人 平成会

住所 東広島市高屋町小谷 5001-5
 TEL (082) 434-0405
 FAX (082) 434-5599
 メール heiseikai@nishinoike.or.jp
 HP <http://www.nishinoike.or.jp/>
 編集 (社福) 平成会 広報部
 発行者 (社福) 平成会理事長 赤坂 秀則

第 81 号
 (平成 29 年 7 月 1 日)



「デイセンターこだま」での畑作業（2面に紹介記事）

放課後等デイサービスは、六歳〜十八歳までの障がいのあるお子さんと発達に特性のあるお子さんが、放課後や夏休みなどの長期休暇に利用でき、二〇一二年四月に児童福祉法に位置づけられた福祉サービスです。二〇一二年に制度がスタートしたときの利用者数約五万人から、二〇一六年には約十四万人になり、現在も利用者数は増え続けています。また株式会社などの民間事業者も参入したことで放課後等デイサービス事業者数が増え、障がいのある子どもさんたちの放課後の居場所が増えました。しかし、療育内容やプログラムの質に差があることが問題視され、現在は、厚生労働省が放課後等デイサービスのガイドラインを出すなど、療育の質の向上に向けた取り組みが進んでいます。

夕風が開業した二〇一三年十二月初旬は、放課後等デイサービスを行っている事業所は少なく、手探りでスタートでした。現在は新事業所が次々とでき、活動内容も習い事に近いことを行っている所、専門的な療育を受けることができる所など、子どもさんに合わせた選択ができるようになってきました。当初はこまめに合わせた選択ができていたと思いましたが、振り返ると時代に沿った事業展開ができていたと思います。今では地元の小学校、中学校に通われている方の利用が多くなり、学校の先生や保護者の方との連携もとれ、お迎え時間の調整などの協力もしてもらえようにもなりました。お買い物で行ったお店の方や近辺の方にも声をかけてもらい、地域の方々に支えられた事業所に成長していると感じます。

今後も制度の見直しが続くと予測されますが、事業所を中心にインフォーマルな関わりを含め、地域全体で支えることができる風土作りと質の高い療育を目指し、児童支援の基盤を築いていきます。

「夕風」のこれまで、そしてこれから

放課後等デイサービス事業所 夕風
 管理者 上田 智子



新入職員の皆さんと記念撮影

新入職員として

今春から「あさひ」で勤務しています廣畑那奈です。私は大学で子どもの発達や障害などについて学び、障害のある方の手助けをしたいと思い、福祉への就職を希望しました。平成会を見学し、先輩職員から「利用者さん一人ひとりを大切にし、今よりも利用者さんにあった環境を提供しよう」と心がけている」と話を聞き、私もその支援に携わりたいという思いから入職しました。

最初は、利用者さんの行動や言葉が読み取れず解らない事ばかりでした。しかし、理由を教わることで利用者さんの気持ちに共感できたり、私の言葉に反応し、笑ってくれる姿を見たりすることで、「もっと関わりたい」「たくさん笑顔にしたい」という思いが溢れてきました。

これからも、利用者さんへの関わり方や支援などについて多くのことを学び、利用者さん一人ひとりの会話や非言語コミュニケーションを大切にしながら信頼関係が結べるように頑張りたいと思います。

多機能型事業所あさひ 廣畑那奈

先輩職員として

廣畑さんがあさひに入職して三ヶ月が経ちます。最初は戸惑う様子や、緊張で表情や動きが硬い様子でしたが、他職員に聞きながら利用者さんや活動面などを理解しようと頑張っています。私も廣畑さんに伝えながら自分自身を振り返り一緒に成長しています。

新責任者挨拶



あおぞらぱん屋さん店長

武田 洋美

地域の方に愛されるお店で

西の池学園グループホーム責任者

太田 麻美

地域の中でみんなが心地よい生活を

こだま責任者



あおぞら工房管理者

内田 亘

笑顔を大切に、利用者さんと

デイセンターこだま 責任者

松井 茂雄

皆様の健康づくり・生きがいづくり。



堀越 優一

車両整備のお知らせ

この度日本財団より助成金の交付を受け、日産キャラバンを整備しました。利用者の送迎や外出に、永く大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



★ ★ ★

ちょっと
ひと息



あおぞらぱん屋さん飾りにある働く車です。車の後ろにはおいしいそうなパンが載ってます。他にも「働く車」が展示してあります。ぜひ、見に来てください。